

Iga City

2026

広報 いが

4

No.412

歴史をめぐり
未来をつむぐ。

特集 令和8年度 施政および予算編成方針

2/2 忍者市役所開庁式

市では毎年2月を「忍者市月間」と位置付け、市内外に向けて「忍者」の魅力を生かした取り組みを行っています。

この日は忍者市月間のオープニングイベントとして、「忍者市役所開庁式」を行いました。期間中は職員が忍者衣装で勤務するなど、忍者を身近に感じられる1カ月になりました。



2/6 3/3 伊賀上野・城下町のおひなさん

ハイトピア伊賀には、白鳳幼稚園の園児が作ったかわいいおひなさんが並び、白鳳プラザには、7段飾りやつるし雛など立派なひな飾りが並びました。どの展示会場も春の訪れを感じさせる華やかな雰囲気になっていました。



2/13 バレンタイン献立

上野東小学校の給食に「バレンタイン献立」が登場しました。メニューはスタミナチャーハン、ツナと水菜のサラダ、バレンタインにぴったりのココアのカップケーキ。サラダにはハート形のニンジンが入っていて、児童たちからは「かわいい!」の声も上がり、特別メニューを楽しんでいる様子でした。



2/21 第1回イガプロ ~伊賀の企業発見フェア~

DMG MORI アリーナで、市内企業24社が製品展示やものづくり体験などを通じて、各社の魅力をPRしました。特設ステージでは、企業誘致セミナーの一環として、伊賀市若者会議による「仕事」と「暮らし」を本音で語るトークセッションを実施しました。参加者からは「社員の人の話を聞いて、働くイメージが湧いた。」などの声が寄せられました。



今月の表紙



今月の表紙は、4月1日に開館した「伊賀市中央図書館」です。

市指定文化財である「旧上野市庁舎」をリノベーションした複合施設内に公共図書館が加わります。

歴史あるモダニズム建築の魅力を生かし、現代の機能性を融合させた館内には、ゆったりと本と向き合える、美しい空間が広がっています。

伊賀市の新たな交流の拠点へ、ぜひお越しください。皆さんのご来館をお待ちしています。

もくじ

- 03 まちかど通信
- 04 特集 令和8年度 施政および予算編成方針
- 08 伊賀市の組織を一部変更します
- 09 第21回伊賀市民美術展覧会(市展「いが」)
- 10 「かがやけ!くらし商品券」販売のお知らせ
芭蕉祭フェスティバルバンド参加者募集
- 11 市税は納期限内に納めましょう
木造住宅の耐震化を支援します
- 12 予防接種のお知らせ
- 13 脳ドック受診者を募集します
スマホで手軽に広報いが!
- 14 ゴールデンウィークの救急医療体制
国民年金のはなし
- 15 くらしの情報
- 20 スポーツの力
- 21 図書館だより
- 22 伊賀城和定住自立圏ニュース
- 23 公共交通だより
となりまち い・こ・か
- 24 伊賀の歴史余話
イガプロ
- 25 上野総合市民病院だより
明日に向かって(人権コラム)
- 26 5月の子育てカレンダー
- 27 5月の無料相談
- 28 いがフォト
4月の二次救急実施病院

伊賀市長稲森としなお できごとコラム
きょうも歩く! Vol.12
あなたの「生きる」に寄り添う市役所に
私は、市長として「誰もが自殺に追い込まれることのない伊賀市」をあきらめません。
あなたが感じている「生きづらさ」は、決して個人の弱さの問題ではありません。仕事、家庭、育児、介護、健康、人間関係…、いくつもの困難が重なったとき、誰の身にも起こる可能性のある「社会全体で向き合うべき課題」です。
私は、その先頭に立って一人ひとりを「孤立」させない伊賀市をめざします。市役所は、生活の困りごとから心の悩みまで「まるごと」受け止める場所です。専門部署がチームとして連携し、複雑に絡み合った悩みを一つずつ解決するお手伝いをします。
誰かに助けを求めることは、生きるための前向きな選択です。もしも身近な人の小さな違和感に気づいたら、そっと声をかけてみてください。共に支えあい、もっと生きやすい伊賀市を市民みんなで創りましょう。



▲3月の自殺対策強化月間にあわせ、市役所前で啓発を行いました。



令和8年度 施政および予算編成方針

～人をはぐくむ、くらしを守る 伊賀のひだまり予算～

2月26日(木)、令和8年伊賀市議会2月定例会の開会にあたり、稲森市長が令和8年度に向けて施政および予算編成方針を述べました。ここではその概要をお知らせします。

☎ 秘書広報課 ☎ 22-9600 FAX 24-7900

くらしをまもる

健康

伊賀市のがん検診受診率は、県内で最も低いレベルであり極めて深刻です。そこで、「最下位脱出ーがん検診V字回復プロジェクト」を立ち上げ、がん部位別の死亡者数が最も多く、医療費が最も多くなる肺がんの検診の啓発・支援を重点的に強化し、受診率の向上に努めます。

スポーツ

阿山第2運動公園を人工芝化するなど、「人が集まる」「人がつながる」スポーツ施設の整備を進めます。また、スポーツ合宿などの誘致を図るため、団体などに対する宿泊補助制度を新設し、交流人口拡大や地域活性化を推進します。



阿山第2運動公園

高齢者・障がい者福祉

福祉人材の確保は喫緊の課題です。

いのちをまもる

防災・危機管理

近年の大規模地震の発生を踏まえ、南海トラフ地震に備えて、生活物資の備蓄や通信手段の確保などにより被災者の生活環境を整備します。孤立しやすい地域を重点的に防災・減災対策を強化し、地域とともに生命と財産を守ります。



伊賀市総合防災訓練の様子(花垣地区)

都市政策

年間約10万人が訪れる上野公園では、トイレの洋式化や景観に配慮した樹木伐採を行い、来訪者が安心して利用できる環境を整えます。にぎわい・交流人口の創出や持続可能な市民生活の実現につながる自転車の活用を推進するため、「伊賀市自転車活用推進計画」の策定に向けた検討を進めます。



上野公園内トイレ

公共交通

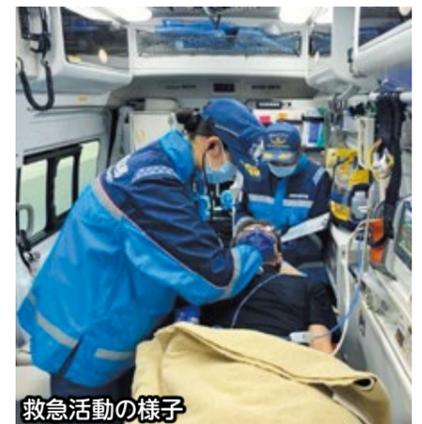
令和9年度以降の公共交通の方向性を示す「伊賀市地域公共交通計画」を、地域公共交通活性化再生協議会で策定します。伊賀鉄道については、次期「鉄道事業再構築実施計画」を策定し、安定運行の確保に努めるとともに、近鉄と沿線まちづくりの課題を共有し、連携・協力を進めます。



伊賀鉄道

消防・救急

救急需要の増加に対応するため日動救急隊を新設し、伊賀消防署で運用します。救急体制の充実・強化を図るとともに、働きやすい職場環境を整備します。



救急活動の様子

医療

伊賀地域の二次救急医療体制は、3つの基幹病院が連携して現在の体制を維持しています。産科医療は、伊賀地域で分娩可能な施設が市内1カ所のみのため、県や名張市と協調して医療機関への支援を進めます。

上野総合市民病院では、県の「新たな地域医療構想」を注視しつつ、今後の地域医療のあり方や施設整備を検討します。医師確保は厳しい状況ですが、4月から常勤する消化器内科医1名を確保し、臨床研修医3名を内定しました。また、下部内視鏡装置や透視装置、生化学自動分析装置などを更新し、医療の質を高めます。

ひとをはぐくむ

子ども

「子どもの権利に関する条例」の制定に向け、こどもの意見反映を重視し、庁内で連携して進めます。出前講座やこども向けワークショップなどで意見を集め、夏頃に中間案を公表する予定です。

改正民法で養育費の支払いが親の責務と明確化されたことを受け、養育費の取り決めにかかる公正証書作成費用を助成する制度を創設します。このことにより、ひとり親家庭の経済的自立と、こどもの健やかな成長を支援します。ジェンダー平等や家事負担軽減、地

産地消・食育の観点から、すべての公立保育所で給食の米飯を無償提供します。私立保育所・認定こども園にも同様の提供を働きかけ、実施する施設には保護者負担分を助成します。

赤ちゃんと保護者が絵本を通じてあたたかいふれあいの時間をもてるよう、ブックスタート事業として、生後4カ月までの乳児を対象に絵本の配布を復活させます。

人権・平和

幼いこどもや大人による差別につながる発言が発生していて、人権啓発の不足と相談体制の強化が必要だと感じています。令和7年度に実施した被差別当事者や支援団体への聞き取りの結果を踏まえ、当事者団体や有識者を交えた相談調整会議を立ち上げます。

平和推進の取り組みでは、「平和の集い」をブラッシュアップして開催し、戦争の悲惨さや平和の尊厳、憲法理念を広く周知し、次世代の平和リーダーを育成します。



伊賀市戦後80年平和の集い

学校教育

いがまち地区の中学校校区再編を検討する協議会を設立し、協議を進めていきます。霊峰中学校の校舎を利用し(仮称)霊山中学校の令和9年4月開校をめざし、よりよい教育環境を整備すべく校舎・体育館などの改修を行います。



霊峰中学校校舎

生涯学習

令和9年1月に「二十歳のつどい」を開催するため、実行委員を募り、当事者の声を反映して準備を進めます。市民アンケート結果と、意見交流会での意見は、実行委員会で企画・運営に反映します。誰もが楽しめる式典を通じて若者の市政参加を促します。

文化・芸術

新しい芭蕉翁記念館は、「伊賀鉄道伊賀線南側の市街地活性化に貢献し、芭蕉翁顕彰を核に伊賀の歴史・文化に触れる場になりたい」という私の思いを委員会に伝えました。これまで、委員会では施設のめざす姿や基本理念、事業活動計画、展示計画などを検討しています。今後、基本計画のパブリック

コメントを募集した上で答申をとりまとめたいと予定。新記念館は、芭蕉翁の直筆資料などの貴重な財産を保全・調査・継承することにも、こどもや家族が集い、にぎわいを生む施設をめざします。



芭蕉翁記念館

現存する芭蕉直筆のものうち、最も古いとされる短冊を購入し、芭蕉生誕地・伊賀市の価値を高め、全国・世界へ発信します。

多文化共生

伊賀市は1990年代以来、多くの外国人住民とともに歩んできたまちです。社会に漂う排外主義的な風潮に流されることなく、理解や交流を深めるきっかけとなる「多文化共生ガイドブック」を作成し、外国人住民が地域で活躍できる、包摂性のあるまちづくりを進めます。

にぎわいをしるる

都市拠点

旧上野ふれあいプラザ跡地の有効活用をめざし、学識経験者や建築・芸術

の専門家、市民を委員に「跡地活用デザイン会議」を発足しました。にぎわい回廊との一体化や周辺環境との調和を踏まえた市民に開かれた議論を進め、市街地エリアの未来に希望の持てる拠点整備を進めます。

4月1日には新図書館「伊賀市中央図書館」を開館します。蔵書や各種サービスを充実させ、市民とともに作る交流型図書館「学び・創造・憩いの広場」をめざします。施設完成がゴールではなく、今後は伊賀市にぎわいパートナーズなどと連携し、中心市街地全体の価値向上と、誰もが歩いて楽しく誇れるまちづくりを進めます。



伊賀市中央図書館 (旧上野市庁舎SAKAKURA BASE内)

地域経済

過去最大のプレミアム率100%の「かがやけーくらし商品券」は、物価高に苦しむ市民の暮らしを守り、地域経済を活性化するために4月中旬の販売

極的に地域に向き、皆さんの思いや考えをお聞きします。

行政経営改革

第3次伊賀市総合計画の「めざす姿」の実現に向け、行政経営改革の考え方と職員の業務支援ツールとなる4つのガイドラインをまとめた「共感による公共マネジメントパッケージ」を策定しました。「ひと・もの・かね」が減少する中、職員が自律的に改革を考え、市民との共感を生む行政となるための仕組みを構築します。

また、「市民参加型予算事業」を実施し、寄せられた提案を令和9年度当初予算へ積極的に反映します。

公共施設のあり方

あやま文化センターと阿山ふるさと森公園の利活用について、「あやまの公共施設を考える会」と「阿山地区住民自治協議会連絡会」からの提言を精査した上で、課題整理と実現可能性の調査・検討を進めています。今後は「(仮称)あやま文化センター施設活用等検討委員会」を設置し、市民の皆さんの



あやま文化センター

参画・協働のもと検討を進めます。

また、大山田地域の公共施設複合化整備は地域や関係団体と協議を重ね、地域の拠点となる施設づくりをめざします。

むすぶ

「第3次伊賀市総合計画」に掲げた将来像「すべてのひとが輝く地域が輝く」みんなで話そう「伊賀市の未来」の実現に向けて、「共感」による公共のしくみづくり、「まなび」によるひとづくりを皆さんと一緒に全力で進めていきます。

令和8年度は、市政の推進に必要な不可欠な市民と行政との間に「共感」を生み出すことのできる組織づくりに取り組めます。複雑化する市民や地域のニーズに迅速かつ的確にこたえるために、部局横断の政策調整を強力に図るための体制を整備します。さらに、本庁と各支所との連携強化と地域振興を支える体制も充実させ、皆さんとともに「まち」と「むら」がともに輝く個性豊かで持続可能なまちづくりに挑戦していきます。

市民の視点と市民参加のプロセスにこだわり、その積み重ねの先にこそ、このまちの自治と民主主義が豊かに花開く未来があると確信しています。

※施政方針の全文は、市ホームページでご覧いただけます。



「伊賀市産業振興条例」の具体的なアクションプランを策定します。市や商工団体、事業者の実行プランを集約し、官民一体で「市内の経済循環」を実現して持続可能な産業基盤を築きます。

農業・林業

伊賀市の現状と課題を分析し、農業振興への基本方針や施策を定める「伊賀市夢のある農業振興計画」を策定します。

次世代農業者育成では、集落営農組織と連携しながら、「地域おこし協力隊」を活用した人材育成カリキュラムを構築し、その成果を「農業アカデミー」に生かします。

売却開始に向けて着実に進めています。



かがやけ!くらし商品券

地域資源を生かした起業支援を進め、若い世代や意欲ある事業者による挑戦と成長を支える環境を整えます。

広聴広報

つなぐ・つなぐ・つなぐ

「市長と市民のつながり」を結び直すため、市長が直接出向く「あなたと話したいー市長ふれあいトーク」を、これまで14回実施しました。226人の皆さんと環境や防災、暮らしの基盤、子育て・高齢者支援、地域活性化などの分野について意見交換をしました。引き続き、より使っていたくださいます程度の実施を継続し、地域課題の解決や市政のブラッシュアップに向けて積



第21回伊賀市民美術展覧会（市展「いが」）



図 〇文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9694
 〇(公財)伊賀市文化都市協会 ☎ 22-0511 FAX 22-0512

3月18日(水)～22日(日)の5日間、伊賀市文化会館で市展「いが」を開催しました。

期間中は、入賞・入選作品と審査員などの作品を含む絵画部門48点、彫塑工芸部門43点、写真部門67点、書部門32点の合計190点を展示しました。市長賞作品と入賞者（敬称略）を紹介します。



写真部門
『異次元空間』
福岡 明日佳（平野六反田）

◆市長賞

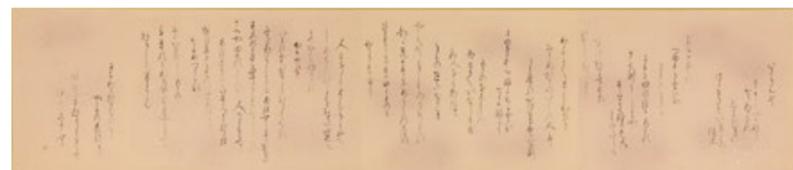


絵画部門
『雲海の山奥の村にも春の訪れ』
大島 勇（千歳）

◆彫塑工芸部門



『血統』
坂口 弘三（音羽）



書部門『小倉百人一首のうた』 奥田 代子（桐ヶ丘）

	絵画部門	彫塑工芸部門
議長賞	『こっち向いて!』 福田 優衣（上野高等学校）	『スローライフ』 中村 翔蒼（伊賀白鳳高等学校）
教育委員会賞	『夢中』 今高 遥愛（比叡）	『温もり』 山本 路（丸柱）
ふんと理事長賞	『きれいだね!』 中岡 結子（予野）	『レザーカービング 屏風』 富岡 清美（千戸）
岡田文化財団賞	『偶像崇拜』 古川 綾花（伊賀白鳳高等学校）	『流るる時』 山岡 由奈（伊賀白鳳高等学校）
伊賀上野ケーブルテレビ賞	『夕散歩』 入交 紀恵（上野西大手町）	『まる』 小坂 洋子（亀山市（市内出身））
上野商工会議所会頭賞	『Spotlight』 竹住 友杏（上野高等学校）	『夢は集散』 森内 隆（ゆめが丘）
伊賀市商工会長賞	『笑顔』 井上 里菜（上野高等学校）	『伊賀花入れ』 川本 和（外山）
奨励賞	『吾輩』 嶋岡 永容（阿保）	『阿吽』 福永 泰治（柘植町）
	『可惜夜の狐』 眞栄田 咲季（伊賀白鳳高等学校）	『御茶用具』 米島 政清（出後）
		『一本の木から生まれた猫たち』 渡邊 智代（生流里）

	写真部門	書部門
議長賞	『光彩の先に』 駒田 直哉（陽光台）	『杜牧の詩』 中島 茜坡（下柘植）
教育委員会賞	『一瞬の煌めき』 西 秀樹（富永）	『小倉百人一首抄』 馬場 知江子（緑ヶ丘西町）
ふんと理事長賞	『飛翔』 福岡 資弥（岩倉）	『孟浩然の詩』 猪上 美粋（緑ヶ丘南町）
岡田文化財団賞	『波動』 藤森 繁信（古郡）	『杜甫詩 玉臺観』 村田 凜々花（奈良県橿原市（市内出身））
伊賀上野ケーブルテレビ賞	『忍者参上』 脇坂 大（桑名市（市内在勤））	『興福寺』 栗山 昭彦（奈良県天理市（市内在勤））
上野商工会議所会頭賞	『鉄火』 岸 則和（下友生）	『棧道飛雪』 吉藤 綾乃（伊賀白鳳高等学校）
伊賀市商工会長賞	『高原の輪舞』 松本 順子（名張市（市内出身））	『百人一首のうた』 稲森 政代（上之庄）
奨励賞	『苔の森』 川上 千津子（小田町）	『涸沢碑林を訪ねて』 松本 真理子（服部町）
	『もうへとへと』 林 佳代子（ゆめが丘）	『古今和歌集抄』 川端 真智子（緑ヶ丘本町）
	『姉妹』 和田 聖也（ゆめが丘）	『臨 玄妙観重修三門記』 森内 花那（上野高等学校）



伊賀市の組織を一部変更します



市役所



消防本部

図 〇総務課 ☎ 22-9601 FAX 22-9672
 〇消防総務課 ☎ 24-9100 FAX 24-9111

4月1日から、事務の効率化や最適な行政サービスの提供をめざして、組織の一部を変更します。
 ※市全体の組織名称と電話番号、主な業務の一覧は、別冊をご覧ください。

市役所

◆新設した課や室

変更後	変更前	変更理由
未来政策部	秘書広報課	事務の効率化のため秘書課と広聴広報課を統合します。
産業農林部	未来の山づくり推進課 獣害対策室	更なる事業推進のため、室を課に、係を室に変更します。
建設部	空き家対策課	
教育委員会事務局	教育施設課	

◆名称を変更した課

変更後	変更前	変更後	変更前
未来政策部	行政改革課	産業政策課	商工労働課
地域力創造部	交流政策課		中心市街地課
財務部	管財課	農業振興課	農林振興課
地域連携部	地域政策課	建設政策課	建設管理課
人権生活環境部	戸籍住民課	住宅政策課	住宅課
	くらし安全課		
	資源循環推進課	廃棄物対策課	

消防本部

◆変更内容

【伊賀消防署】

- 「警防第1課」を「消防救助課」と「救急課」に分割
- 「警防第1課」の分割に伴う各分署の名称を変更
- 「救急課」に、平日の昼間に活動する救急隊「デイトタイム救急隊」を配置

◆デイトタイム救急隊

【運用時間】 月～金曜日（祝日などを除く。）

午前9時～午後4時

全国的に救急需要が増加し、市でも救急出動件数が年間5,000件を超え、高止まりの状況が続いているための対応策です。救急出動の約6割が昼間に集中していることから、救急車2台を伊賀消防署に配置し、現場到着時間の短縮を図り、救急体制の強化をめざします。



◆組織図





市税は納期限内に納めましょう



☎ 収税課 ☎ 22-9612 / 22-9615 FAX 22-9618

市税は、私たちの生活に必要な福祉・健康・教育・防災などの行政サービスを支える財源です。これらのサービスは、所得や資産の状況に応じて、皆さんに公平に負担していただくことで成り立っています。

◆納入方法

- 口座振替 ○金融機関、郵便局での納付
 - コンビニエンスストアでの納付 ○クレジット納付
 - スマートフォン決済 ○インターネットバンキング
 - eLTAX（共通納税システム）を利用した納付
- ※納付書により、取り扱いに違いがありますので、裏面の記載事項をご確認ください。

◆市税の納付には安心・便利な口座振替を

納期限日に、指定された金融機関の口座から振り替えることができます。
※二重納付や税額の更正により還付金が発生した場合などは、手続きなく届け出の発生から還付までの期間が通常より短縮されます。



口座振替の申込方法

◆やむを得ない事情で納付が困難な場合は早めのご相談を
病気や失業、事業の廃止、災害などの理由がある場合、分割納付や一定期間の納税猶予を受けられる場合があります。そのまま放置せず、収税課へ相談してください。

◆市税の滞納解消への取り組み

期限までに納付がない場合、督促状や催告書などで納付を促します。これらに応じず市税を滞納し続けると、財産の差し押さえや自宅の捜索などの滞納処分を行うことがあります。差し押さえた不動産や動産は公売により売却し、市税に充当します。

◆市税の還付を装った振り込み詐欺に注意を

市職員が金融機関でATMの操作をお願いすることはありません。訪問する際には「徴税吏員証」を携帯しています。不審な電話や訪問を受けた場合は、市役所に確認するか、警察へ相談してください。市では滞納者に対してショートメッセージで催告を行っていますが、リンクをクリックするよう求めたり、口座への入金を求めることはありません。



プレミアム付き商品券事業

「かがやけ！くらし商品券」販売のお知らせ



☎ 伊賀市かがやけ！くらし商品券事業実行委員会 ☎ 41-1160（専用ダイヤル）

◆商品券購入の流れ

①事前申込（3月31日で終了）
※販売対象は、事前申込をした人に限ります。

②「引換コード」の通知

申込多数の場合は、抽選で購入数などを決定します。「引換コード」は、4月中旬にメールなどで通知します。

③販売場所での購入手続き

申し込み時に希望した販売場所で「引換コード」を提示（メール画面、印刷したもの）してください。
※「引換コード」があれば、本人以外でも購入できます。
※本人確認書類をお持ちください。
※販売開始直後は混雑する可能性がありますのでご了承ください。

【販売金額】 1セット5,000円

【支払方法】

現金、クレジットカード、電子マネー、コード決済
※一部利用できないものがあります。



© いが☆プリオ実行委員会

販売場所

●市役所本庁舎 1階特設ブース ☎ 41-1160

【販売期間】

- 4月20日(月)～5月29日(金)の平日
- 4月25日(土)・5月2日(日)
- いずれも午前9時～午後5時
- ※木曜日のみ午前10時30分～午後7時30分

●伊賀市商工会 本所（下柘植723-1）☎ 45-2210

【販売期間】

- 4月20日(月)～5月8日(金)の平日
- 4月25日(土)
- いずれも午前9時～午後5時

●青山複合施設 アオーネ ☎ 52-1112

【販売期間】

- 4月20日(月)～5月8日(金)の平日
- 5月2日(日)
- いずれも午前9時～午後5時



木造住宅の耐震化を支援します



☎ 建築課 ☎ 22-9732 FAX 22-9734

◆木造住宅耐震診断事業

昭和56年5月31日までに建築（着工）された3階建て以下の木造住宅を対象に無料で診断します。

【補助一覧】

診断の結果、倒壊する可能性が高いと診断された住宅の工事などに対し補助します。（住宅1棟限り）

◆木造住宅耐震補強設計の補助

補強設計に要する費用の3分の2（最大18万円）
※精密診断法による場合は最大34万円

◆木造住宅耐震補強工事の補助

木造住宅耐震補強設計に基づく補強工事に要する費用の一部（最大157万5千円）

◆リフォーム工事の補助

木造住宅の耐震補強工事に合わせて行うもので機能向上や性能向上を図るリフォーム工事に要する費用の3分の1（最大40万円）

◆耐震性のない木造空き家の除却補助

除却工事に要する費用の23%（上限20万7千円）
※リフォーム工事・木造空き家の除却は、市内に本店・

支店・営業所がある建設業者が施工するものに限る。

◆耐震シェルターなどの設置補助

耐震性のない木造住宅の1階部分に設置するもので設置に要する費用の2分の1（最大50万円）
※1カ所に限る。

◆ブロック塀などの撤去費補助

【対象】 市内にあるブロック塀などで、公衆道路に面し、道路からの高さが1mを超え、地震で倒壊または転倒の危険があるもの
※標準事業費（6千円/㎡）と工事費を比較し、低い額の2分の1（上限15万円）

◆ブロック塀などの撤去費補助

【対象】 市内にあるブロック塀などで、公衆道路に面し、道路からの高さが1mを超え、地震で倒壊または転倒の危険があるもの
※標準事業費（6千円/㎡）と工事費を比較し、低い額の2分の1（上限15万円）

【申込開始日】 4月10日(金) ※先着順

※いずれの補助事業も、工事などの契約・着工までに申請が必要です。（各事業の申請期間は異なります。）
詳しくは市ホームページをご覧ください。



芭蕉祭フェスティバルバンド参加者募集



☎ 文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9694 ☎ bunka@city.iga.lg.jp

令和8年度（第80回）芭蕉祭式典の「芭蕉祭フェスティバルバンド」にボランティアで参加していただける人を募集します。

芭蕉祭は、伊賀市で生まれた俳聖松尾芭蕉の遺徳を偲び、毎年10月12日に開催しています。

会場を盛り上げる芭蕉祭のテーマ曲を演奏しませんか。

【と き】 10月12日(月・祝)

午前9時25分～11時30分

【ところ】 上野公園 俳聖殿前広場

【対象者】 吹奏楽・管弦楽での合奏経験がある人で、楽器を所有し、練習と式典に参加できる18歳以上の人（高校生を除く。）
※親子などで参加の場合は18歳未満でも可

【募集パート】

フルート、オーボエ、バスーン、クラリネット、サクソフォン、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、バスチューバ、パーカッション、コントラバス

【練習日時】 5月22日(金)、6月12日(金)、7月10日(金)、7月31日(金)、8月21日(金)、9月18日(金)、10月2日(金)*、10月9日(金)*

*は市民合唱団と合同練習

○午後6時30分～ ウォーミングアップ（個人練習）

○午後7時30分～ 基礎合奏

○午後8時～9時30分 合奏練習または合同練習

【練習場所】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【練習曲】

「芭蕉さん」「芭蕉翁讃歌」「芭蕉」「奥の細道」など

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号・所有楽器名・楽器演奏経験を上記まで。申込フォームからも申し込みできます。



申込フォーム





国民健康保険

脳ドック受診者を募集します



☎ 保険年金課 ☎ 22-9659 FAX 26-0151

受診資格	伊賀市国民健康保険の加入者で、昭和26年9月1日から昭和61年3月31日までに生まれた人 ※受診時点で40歳から75歳未満の人
定員	300人
実施期間	6月1日(月)～令和9年2月27日(出)
検査内容	身体測定・血圧測定・血液検査・尿検査・肝機能検査・腎機能検査・脂質検査・血糖・尿酸・心電図・画像診断(MRI・MRA)
検査場所	○岡波総合病院 ○上野総合市民病院 ○金丸脳脊髄外科クリニック
自己負担額	9,500円(検査費用3万7,100円のうち2万7,600円を補助します。)

【注意事項】

※受診時点で伊賀市国民健康保険の加入者でない場合は受診できません。

※受診した場合は、毎年7月1日から実施する特定健康診査は受診できません。

※令和6・7年度に受診した人は申し込みできません。

【申込方法】

- はがき
《記入例》

(表)	(裏)

- 申込フォーム



申込フォーム

【申込期限】 4月24日(金)

※はがきの場合は消印有効

※申込多数の場合は抽選

※簡易人間ドックは令和7年度で終了しました。



スマホで手軽に広報いが！



☎ 秘書広報課 ☎ 22-9636 FAX 22-7962

マイ広報紙

電子配信アプリ「カタログポケット」での広報いがの配信を終了し、4月から新たに「マイ広報紙」での配信に切り替えます。これまで広報いがを「カタログポケット」でご覧いただいていた人は、「マイ広報紙」をご覧ください。

「マイ広報紙」では、広報いがを記事ごとにテキストデータ化し、配信します。インターネットに接続できる環境があれば、ウェブサイトからブラウザ版で見ることができます。

「マイ広報紙」では、広報いがを記事ごとにテキストデータ化し、配信します。インターネットに接続できる環境があれば、ウェブサイトからブラウザ版で見ることができます。



◆マイ広報紙の特長

- 多言語対応 26言語に対応

【対応言語】 日本語・英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・ロシア語・フランス語・フィリピン語・ネパール語・マレー語・ヒンディー語・ドイツ語・ミャンマー語・イタリア語・アラビア語・シンハラ語・タミル語・ベンガル語・クメール語・トルコ語・ペルシャ語

- 音声読み上げ機能

「読み上げ」ボタンを押すことで、記事を音声で聞くことができます。

※音声読み上げは日本語のみ対応

- マイ広報紙を見る方法

- 「マイ広報紙」で検索
- 市ホームページのリンクから
- 上記の二次元コードから

スマートフォンやパソコンでぜひ電子版の広報いがをご覧ください。



予防接種のお知らせ



☎ 健康推進課 ☎ 22-9653 FAX 22-9666

【期間】 4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

【ところ】 市内実施医療機関(市ホームページに掲載)

【申込方法】 接種を希望する医療機関に直接予約してください。

※市外医療機関で接種する場合、接種日の2週間前までに健康推進課にご連絡ください。

子ども(定期接種)

対象となる年齢や接種回数、接種間隔などが法律で定められており、無料で受けることができます。予防接種を受けることで、感染症の予防や、感染した場合の重症化を防ぐことができます。また、市では任意接種(有料)の一部助成も行っています。

予防接種名	回数	対象年齢
ロタウイルス	2～3回	1価(ロタリックス): 生後6～24週 5価(ロタテック): 生後6～32週
肺炎球菌	1～4回	生後2カ月～5歳未満
B型肝炎	3回	1歳未満
5種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ)	4回	生後2カ月～7歳6カ月未満
BCG	1回	1歳未満
麻しん・風しん混合(MR)	1回	1期: 1～2歳未満
	1回	2期: 令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ(年長児)
水痘(水ぼうそう)	2回	1～3歳未満 ※水ぼうそうにかかったことのある人は接種不要です。
日本脳炎	3回	1期: 3～7歳6カ月未満
	1回	2期: 9～13歳未満
二種混合(DT)	1回	11～13歳未満
RSウイルス	1回	妊娠28～37週に至るまで

たいじょうほうしん
帯状疱疹

【対象者】(予診票を個別に郵送します。)

- 65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人
- 60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がい(身体障害者手帳1級相当)の人

【ワクチンの種類と回数・費用】

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
予防効果	5年程度	10年程度
自己負担額	2,700円	1回あたり6,600円
※生活保護受給者は無料	※市の助成金(6,160円)を差し引いた額	※市の助成金(15,460円)を差し引いた額

※助成はどちらかのワクチンで生涯に1度限りです。どちらを接種するかは医療機関にご相談ください。

肺炎球菌

【対象者】(助成はがきを個別に郵送します。)

- 接種日に65歳の人
- 接種日に60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がい(身体障害者手帳1級相当)の人

【自己負担金】 3,500円(生活保護受給者は無料)



資源再利用物回収 奨励金



リサイクルできる資源の回収を行った団体に対して、奨励金を交付します。

【対象・交付額】

- 古紙類(新聞・雑誌・ダンボールなど) 3円/kg
- 古布類(ポロ布・古着など) 3円/kg

【対象団体】 市内の児童福祉法による児童・PTAなどの学校教育関係の団体・障害者基本法による団体
※資源再利用物回収団体の登録が必要です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問 資源循環推進課

☎ 20-1050 FAX 20-2575

クーリングシェルター (指定暑熱避難施設)の設置



【設置期間】

4月22日(水)～10月21日(水)
各施設開館時間内

【設置場所】 市ホームページに掲載

近年、地球温暖化の影響により全国的に猛暑日の増加や平均気温の上昇など、熱中症の危険性が高まっています。市では、熱中症特別警戒情報の有無にかかわらず、クーリングシェルターを上記期間中に常時開放します。お気軽に涼んでください。

問 環境政策課

☎ 22-9624 FAX 22-9641

伊賀市でくらす 外国人のための 生活ガイドブック

市役所での手続きや生活情報が書いてあります。



問 多文化共生課
☎ 22-9702



お知らせ

交通費を助成します (重度障がい児(者)対象)



【対象者】

- 住民票が伊賀市にあり、次のいずれかの手帳を持っている人
- 身体障害者手帳1級・2級
- 療育手帳A1・A2
- 精神障害者保健福祉手帳1級
- ※伊賀市障がい児(者)訓練施設等通所費助成を受けている人は対象外

【助成額】

- タクシー等乗車券・自動車燃料券・伊賀鉄道乗車券 年間 1万4,400円
- 原動機付自転車燃料券 年間 7,200円
- ※4種類の交付券から1種類を選択
- ※年度途中で手帳が新たに交付された場合は、交付月以降分を助成
- ※年度途中での交付券の変更不可

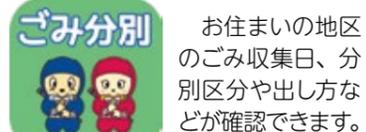
【申請方法】

障がい者手帳と申請者(窓口来庁者)の本人確認書類を下記まで持参

申・問 ○障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662
○各支所(上野支所を除く。)

「伊賀市ごみ分別アプリ」



問 さくらリサイクルセンター
☎ 20-9272 FAX 20-2575

ふるさと応援寄附金

返礼品協力事業者を募集しています



問 産業政策課

☎ 22-9669 FAX 22-9695
✉ furusato@city.iga.lg.jp

認知症カフェ



時間内の出入りは自由です。

◆いがオレンジカフェ

【と き】 4月14日(水)
午前10時～11時30分(受付時間)
【と ころ】 ハイピア伊賀
4階ミーティングルーム
【内 容】 体操や脳トレなど
問 地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

◆オレンジカフェあやま

【と き】 4月15日(木)
午前10時～11時30分(受付時間)
【と ころ】 阿山保健福祉センター ホール
【内 容】 音楽療法
問 地域包括支援センター
東部サテライト
☎ 45-1016 FAX 45-1055

認知症の人と家族の会 「伊賀地域つどい・交流会」



【と き】 4月28日(水)
午後1時30分～4時
【と ころ】 本庁舎 2階会議室 202
※認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。
問 地域包括支援センター
東部サテライト
☎ 45-1016 FAX 45-1055

防災・情報アプリ HAZARDON で配信中!

- 災害緊急情報
- 気象情報
- 地震情報
- 土砂災害情報
- 火災情報
- 行政情報
- 自治協議会・自治会からのお知らせ



問 防災危機対策局

☎ 22-9640 FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp

人権啓発パネル展



◆人権政策課 人権啓発パネル展
「伊賀市民意識調査から見えるもの」
「障害者差別解消法」
【と き】 4月1日(水)～28日(火)
【と ころ】 本庁舎3階
「感染症と人権」
【と き】 4月6日(月)～17日(金)
【と ころ】 西柘植地区市民センター
「インターネットと人権②」
【と き】 4月6日(月)～17日(金)
【と ころ】 阿山保健福祉センター
「部落差別解消推進法」
【と き】 4月6日(月)～17日(金)
【と ころ】 青山複合施設 アオーネ
問 人権政策課
☎ 22-9683 FAX 22-9641

◆寺田市民館 「じんけん」パネル展
「2024年度寺田市民館・寺田教育集会所だより『ひかり』コラム」
【と き】 4月3日(金)～28日(火)
※開館延長日 14日(水)、21日(水)
(午後7時30分まで)
【と ころ】 寺田教育集会所 第1学習室
問 寺田市民館 ☎/FAX 23-8728

「ヘルプマーク」を知っていますか?
援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。
【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

行政だより「ウィークリー伊賀市」
市公式YouTubeチャンネルで配信中!
IGA NINJA
問 秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 22-9672

前期危険物取扱者試験 (乙種4類、丙種)



【と き】 6月6日(土)
○乙種4類 午前・午後
○丙種 午前
【と ころ】 ゆめぼりすセンター
【申込方法】
○郵送 消防本部、各分署にある願書に必要事項を記入
○電子申請 (一財)消防試験研究センターホームページから申し込み
【申込期間】 4月6日(月)～16日(水)
申・問 (一財)消防試験研究センター 三重県支部
☎ 059-226-8930

◆予備講習会

【と き】 5月14日(水)
午前9時20分～午後4時30分
【と ころ】 消防本部 3階研修室
【対象者】 危険物取扱者試験(乙種4類)受験者
【料 金】
○受講料 1,000円 (伊賀市防火協会員は無料)
○教科書 1,000円 (同会員は半額)
○問題集 1,000円 (同会員は半額)
※教科書・問題集をお持ちの場合は、購入不要
【定 員】 先着60人
【申込方法】 下記窓口までお越しください。
【申込期間】 4月17日(金)～5月8日(金)
午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く。
申・問 消防本部予防課
☎ 24-9103 FAX 24-9111

お薬手帳を1冊にまとめましょう
飲んでる薬や治療歴の管理ができて安心
複数のお薬手帳を持っている人は、1冊にまとめて適切な管理を行いましょう。
問 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

伊賀流リカレント セミナー「学びの窓」



リカレント教育(社会人の学び直し)の一環として、民俗や歴史、文化などをテーマとしたセミナー(前期4回)を開催します。

【とき・内容】

- 第1回: 5月12日(火)
演題:「祭り」から学ぶ歴史
講師:三重県総合博物館職員 福田 良彦さん
- 第2回: 6月14日(日)
演題:上野城跡への招待
講師:三重郷土史会会員 福田 典明さん
- 第3回: 7月14日(火)
演題:能楽師が語る能の世界とは
講師:喜多流能楽師 長田 郷さん
- 第4回: 9月8日(火)
演題:「身体を通じた忍者の学びの考察」
講師:三重大学地域イノベーション学研究所リサーチフェロー 三橋 源一さん

※いずれも午後1時30分～3時

【と ころ】 ハイピア伊賀
5階多目的大研修室

【定 員】 50人
※teamsによるオンライン参加もできます。
※ヒアリンググループを設置します。車椅子での聴講もできます。
※年間登録制ですが、当日参加もできます。

【申込期限】 4月24日(金)

申・問 生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692
※土・日曜日は生涯学習センター(☎ 22-9801)

行政だより
「ウィークリー伊賀市」
市政情報をケーブルテレビ放送を通じてお伝えしています。
ケーブルテレビ17チャンネル(青山は204チャンネル)・地上デジタル放送121チャンネルで放送中です。
番組表は、右の二次元コードからご確認ください。
問 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

名誉市民選考・表彰 審査委員会委員募集



市制施行記念日に市政功労者、善行者を表彰します。また、市の発展に多大な貢献をされた人に名誉市民の称号を贈ります。これらの選考を行う名誉市民選考・表彰審査委員会委員を募集します。

【選考方法】 作文審査・面接
【任期】

6月1日～令和10年5月31日

【開催回数】 年1回

※原則、平日の昼間2時間程度

【応募資格】

市内在住の満18歳以上で、市議会議員・市職員でない人

【報酬】 6,000円/日

※市の規定に基づく。

【募集人数】 1人

【応募方法】

応募動機(600字以内・様式自由)・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を明記の上、下記まで

【応募期限】

4月30日(木) 午後5時 ※必着

申・問 秘書広報課

☎ 22-9600 FAX 24-7900

✉ hisho@city.iga.lg.jp

伊賀市環境保全活動 支援事業補助金



【条件】

住民自治協議会または自治会ではない伊賀市内の環境保全活動を行う市民団体であること

【対象事業】

伊賀市環境基本条例の基本理念に基づき実施する、環境の保全に関する事業

【補助金額】

補助対象事業を実施するための経費の2分の1(1,000円未満切り捨て)
※限度額 25万円

【申請方法】

申請書を持参または郵送で下記まで

【申請受付開始日】

5月1日(金)

※予算額に達し次第、終了します。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

問 環境政策課

☎ 22-9624 FAX 22-9641

火災予防条例の一部 改正



近年、林野火災が多発していることを受け、早期の注意喚起を目的に、伊賀市火災予防条例の一部改正し、3月31日に施行しました。「林野火災注意報」「林野火災警報」を発令し、屋外における「火の使用の制限」を行います。

【林野火災注意報】

3日前からの降雨が1ミリ以下、かつ30日間の雨量が30ミリ以下の気象状況となったときに発令

→たき火など、外で火を使用しないよう努めてください。(努力義務)

【林野火災警報】

林野火災注意報の発令基準に加え、乾燥注意報および強風注意報が発令されたとき、または消防長が火災予防上危険であると認めるときに発令

→たき火など、外で火を使用してはいけません。(罰則のある義務)

※30万円以下の罰金または拘留に科せられる場合があります。

【対象期間】

降雨量が少なく空気が乾燥する1～5月

【対象区域】

森林または森林の周囲1キロメートルの範囲

【火の使用制限】

○山林、原野などへの火入れをしないこと

○煙火(花火)を消費しないこと

○火遊びまたはたき火をしないこと

○可燃物の付近で喫煙をしないこと

○山林、原野での喫煙をしないこと

○残火(たばこの吸殻含む)、取灰、火粉を始末すること

問 消防本部予防課

☎ 24-9105 FAX 24-9111

「芭蕉クン」を ご活用ください!

「芭蕉クン」イラストが申請により自由にご利用いただけます。



問 文化振興課

▲詳しくはこちら ☎ 22-9621

市民意見(パブリック コメント)を募集します



「文化振興プラン」後期実行計画(令和8～12年度)の中間案について意見を募集します。

【閲覧方法】

○市ホームページ

○文化振興課

○本庁舎1階ロビー

○各支所

○各地区市民センター

【提出方法】 ウェブフォームまたはご意見記入用紙に、氏名・住所・電話番号・「該当ページ・該当箇所」とそれに対する「意見内容」を記入し、下記まで。持参の場合は、各支所窓口でも受け付けます。

※提出いただいた意見は検討資料とし、市ホームページで公表します。

※個別の回答は行わず、いただいた意見は返却しません。

【提出期限】

5月7日(木) 午後5時必着

申・問 文化振興課

☎ 22-9621 FAX 22-9694

✉ bunka@city.iga.lg.jp

介護保険料仮徴収額 通知書を発送します



65歳以上の人を対象に、介護保険料仮徴収額を算定しました。その通知書を4月14日(火)に発送しますので、納期限までに納付してください。口座振替の場合は指定の口座から納期限日に振り替えます。

特別徴収を継続する人には、今回の仮徴収額通知書を発送しませんが、徴収額に変更がある人には、介護保険料額変更通知書を発送します。

※年間保険料額は7月に確定し、改めてお知らせします。

問 介護高齢福祉課

☎ 26-3939 FAX 26-3950

「広報いが」の点字版・録音 版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

問 障がい福祉課

☎ 22-9657 FAX 22-9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

インターネット上の 人権問題



私たちは、家庭や学校、職場などのあらゆる場面でデジタルツール*に触れる機会があります。

インターネット上の投稿などを閲覧・視聴することで知識を得たり、人とつながったりと、便利で楽しい経験をしている人も多いのではないのでしょうか。

一方で、ネット記事やSNSによって不安な気持ちになったり、傷ついたりすることもあります。

インターネットを通して私たちが抱いた感情は、逆の立場でも同じではないでしょうか。つまり、私たちの投稿や「いいね」「シェア」などが、世界の誰かを楽しい気持ちにさせるときもあれば、悲しい気持ちを感じさせるときもあります。相手の感情を揺さぶる力は、時に、人の命や生活を奪ってしまいます。

市内で起きている差別事象には、市内のある地域を被差別部落と見なして写真や動画としてインターネット上で公開する投稿があります。特定の人や地域を被差別部落として「さらす」という行為は絶対に許されないことで、名誉棄損や誹謗中傷など法律に触れる可能性があります。

こうした投稿を見たり、シェアする前に「誰かを傷つけないか」「この言葉は、直接相手に言えるか」「その情報は信頼できる根拠があるか」と考えて、自分自身に問いかけてみてください。

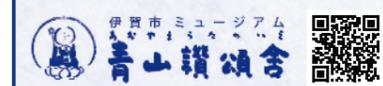
【インターネット上で人権侵害を受けた場合の相談先】

インターネットを介して人権が侵害された、差別やいじめを受けているという人は、ひとりで悩まず、相談してください。

*デジタルツール…スマートフォンやパソコンなどの電子機器、SNSなどのアプリやウェブサービスの総称

問 人権政策課

☎ 22-9683 FAX 22-9641



点訳ボランティア 養成講習会



広報紙や書籍などを点字に訳し、情報支援を行う「点訳ボランティア」の養成講習会を開催します。

【とき】 5月27日～令和9年2月24日の隔週水曜日(全20回)

※10月27日のみ火曜日

午前10時～11時45分

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階学習室2ほか

【対象者】
○点訳を初めて学ぶ人、または経験はあるが現在活動していない人で、基礎・応用コース受講後に点訳ボランティアとして活動できる人
○自宅にパソコン(Windows)があり、基本的な操作ができる人

【受講料】 1,540円(テキスト代)

※駐車場利用料は受講者負担

【定員】 10人程度

【申込方法】

電話・申込フォーム

【申込期間】

4月10日(金)～5月8日(金)

◆事前説明会(要申込)

受講を希望する人は必ずご参加ください。

【とき】 5月13日(水)

午前10時～11時

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階学習室2

申・問 上野点字図書館

☎ 23-1141

(午前9時～午後5時)

※日曜日・祝日を除く。

伊賀市
若者会議
新規メンバー随時募集中

より良い「伊賀」を創るため、一緒に活動しませんか。
Instagram ID
[igashi_wakamonokaigi]

参加申込フォーム



申・問 交流政策課

☎ 22-9623 FAX 22-9672

✉ chisou@city.iga.lg.jp

就学援助制度



経済的な理由で、学用品費など学校でかかる費用にお困りの人に、その費用の一部を援助します。新たに援助を希望する場合や、前年度から引き続き希望する場合は申請してください。

※生活保護受給者は、重複する内容の援助は受けることができません。

【対象者】

公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者

※所得制限あり

【申込方法】

在籍する小・中学校へ申請

問 ○在籍する小・中学校

○学校教育課

☎ 22-9648 FAX 22-9667

伊賀市役所 本庁舎 4月のアート情報

本庁舎で下記の展示を行っています

◆4階市民ミニギャラリー

○栗原 一生 作品展



◆1階玄関横

○伊賀市寄贈作品展

絵画「鎮守の杜」 藤原 康博



○いけばな(伊賀華道協会)

※都合により展示物が変わる場合があります。

※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

市民ミニギャラリー展示作品募集中

問 文化振興課

☎ 41-0400

FAX 22-9694



図書館 だより

伊賀市中央図書館
☎ 21-6868 FAX 21-8999
(午前9時～午後9時)

司書のおすすめ

■絵本

『すききらい』

中川 ひろたか／作、かわしま ななえ／絵
(アリス館)



ぼくがきらいなのは、なす、カラス、あたまを洗うこと。でもママは、すききらいしちゃだめって言う。でも、きらいなものをすきになれるかな…? たくさんの「好き」と「嫌い」の中で暮らしていることについて考えてみる絵本。(TRC MARCより)

■一般書

『やっぱり犬は知っている』

大倉 崇裕／著 (双葉社)

■児童書

『神の蝶、舞う果て』

上橋 菜穂子／著 (講談社)

■いがし電子図書館

『専門医が教える子どもの肌トラブル解決 Book』

伊藤 とうこ／著 (自由国民社)



肌荒れ、虫刺され、やけど、できもの、アレルギー、ケガ、ニキビ、ホクロ、体毛…。年間3,000人の子どもを診る専門医が、生後0日から小・中学生までの肌の悩みに答える。

(TRC MARCより)



伊賀市中央図書館
LINE 公式アカウント



伊賀市中央図書館
ホームページ



伊賀市中央図書館
公式インスタグラム

図書館からのお知らせ

新図書館オープン記念イベント

◆めぐって知ろう! 新図書館クイズラリー

館内を歩きながらクイズに回答して、新しい図書館のことをもっと知りましょう。参加者にはカウンターで、参加賞をお渡しします。

【と き】 4月1日(水)～30日(木)

【ところ】 伊賀市中央図書館

子ども読書の日特別企画「本を借りてしおりをもらおう!」

本を10冊借りて、地下1階児童カウンターまで貸出レシートをお持ちください。かわいい「おりがみのしおり」をプレゼントします。

【と き】 4月20日(月)～26日(日)

【ところ】 伊賀市中央図書館

みんなでボードゲームTIME! Vol. 2

子どもから大人まで大歓迎。新しい図書館で楽しいひとときを過ごしませんか。

【と き】 5月3日(日・祝)

午後1時～4時

【ところ】 伊賀市中央図書館

2階学習・集会室

【定員】 50人

【申込方法】

申込フォーム、電話、ファックス

【申込期間】 4月8日(水)～22日(水)

*申込多数の場合は抽選。抽選結果は4月25日(土)までに連絡します。



前回開催時の様子



申込フォーム



問い合わせフォーム

4月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

と き	と ころ	催物 (読み手)
11日(土) 10:30～	そうぞの広場 (大山田小学校)	おはなしたいむ (きらきら)
11日(土) 14:00～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	おはなしの会
15日(水) 10:30～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	えほんの森 (よもよも)
22日(水) 10:30～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	おひぎでだっこのおはなし会
25日(土) 10:30～	おはなし室 (伊賀市中央図書館)	えほんの泉 (kiko きこ)

認定農業者に なりませんか



認定農業者とは、農業経営を改善するために市が認定した人です。認定後は、経営所得安定対策(ゲタ・ナラシ対策)の交付や農業制度資金の融資などの支援を受けることができます。

【申請方法】

次の書類を市ホームページからダウンロードして提出してください。

- 農業経営改善計画認定申請書
- 収支計画書
- 情報提供の同意書

*申請は随時受け付けますが、認定は四半期ごとに行います。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問 農業振興課

☎ 22-9712 FAX 22-9715

義援金受付中

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。

【義援金箱の設置場所】

- 本庁舎 1階市民スペース
- 各支所 (上野支所を除く。)

問 医療福祉政策課

☎ 26-3940

FAX 22-9673



伊賀市若者交流拠点 応援補助金



若者へ学習環境を提供し、交流の場となる施設を運営する団体を応援するため、施設の維持に要する経費の一部を補助します。

*詳しくは市ホームページをご覧ください。

【対象経費】

若者の交流拠点の維持に要する経費のうち、光熱水費、通信費

【補助率】

補助対象経費の額の2分の1に相当する額

*1,000円未満切り捨て

【補助限度額】

1つの交流拠点あたり1会計年度30万円。ただし、補助対象期間が12カ月に満たない場合は実施月数に2万5,000円を乗じた額を上限とします。

【補助対象期間】

申請日の属する月の1日から、その年度の3月31日まで

【申込方法】 申請書をメールまたは郵送で下記まで

*申請書は市ホームページからダウンロードできます。

申・問 交流政策課

☎ 22-9680 FAX 22-9672

✉ chisou@city.iga.lg.jp

便利なポケットサイズの 時刻表



春のダイヤ改正にあわせて、各路線の連絡時刻が分かるポケットサイズの時刻表を作成しました。

JR 関西本線・伊賀鉄道忍者線(伊賀線)・近鉄大阪線の乗り継ぎを分かりやすく掲載しています。巻末には、コミュニティバス「にんまる」の時刻表なども載っていますので、ぜひご利用ください。

【配布開始】 4月中旬頃

【配布場所】

- 本庁舎 1階総合受付
- 各支所
- 各地区市民センター
- 伊賀鉄道忍者市(上野市)駅など

問 公共交通課

☎ 22-9663 FAX 22-9694

市営城北駐車場無料 化のお知らせ



4月1日から、市営城北駐車場が終日無料となります。

上野公園周辺へのお出かけや図書館を長時間利用される際に、ぜひご利用ください。

問 管財課

☎ 22-9610 FAX 24-2440

スポーツの力

スポーツ推進委員派遣事業を活用しませんか

皆さんは「スポーツ推進委員」を知っていますか。スポーツ推進委員は市が委嘱する委員で、市内で開催される各種スポーツ事業に協力をしたり、スポーツ実技の指導・助言を行うなど、地域のスポーツ振興のため、幅広く活躍しています。

令和5年度から、市民の皆さんがスポーツやレクリエーション活動を行うときに、要望に応じてスポーツ推進委員が実技指導を行う「スポーツ推進委員派遣事業」を始めました。令和7年度には30件以上のイベントに出向き、ボッチャやキンボールなどのニュースポーツを中心に指導・助言を行いました。

地域のお祭りで体験教室を開催したり、大会の審判として活用することもできます。

今まで「やり方が分からない」と困っていた地域や団体の皆さん、今年度はぜひ「スポーツ推進委員派遣事業」を活用して、スポーツを楽しんでみてください。



問 スポーツ振興課

☎ 22-9635 FAX 22-9694

✉ sports@city.iga.lg.jp



伊賀市スポーツ推進委員



公共交通だより



茅町駅トイレ、桑町駅待合室ベンチを改修しました

いつも伊賀鉄道をご利用いただきありがとうございます。

伊賀鉄道の車両や駅舎、線路、踏切などの設備は市の公有財産であることをご存じですか。日々の運行は伊賀鉄道株式会社が行っていますが、運行の安全・安心を支える設備の保守や改修は市が行っています。昨年度実施した駅舎に関する改修をご紹介します。

◆茅町駅

構内トイレが老朽化により使用できなくなりましたが、多目的トイレを備えたバリアフリートイレに改修しました。これまでは駅構内からのみ利用できましたが、外部



からも利用できるようになりました。併せて駅舎前の外構工事を行い、駐輪スペースを拡張するなどの利便性を向上させました。

◆桑町駅

待合室の老朽化したベンチを改修しました。ベンチの座面には伊賀産のヒノキ一枚板を使用し、壁板には三重県産スギの羽目板を用いています。本事業は森林環境譲与税を活用したもので、桑町駅のノスタルジックな雰囲気と地元木材の温かみが調和した待合室になりました。



市では今後も伊賀鉄道の利用環境を改善していきますので、ぜひご利用ください。

☎ 公共交通課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば となりまち

甲賀市 滋賀県選択無形民俗文化財 油日の「奴振」

油日神社の例大祭で、5年に一度奉納される伝統行事「奴振」が、コロナ禍による延期を経て10年ぶりに行われます。



総勢100人以上が参加し、華やかな衣装と威勢の良い歌、独特の振付で集落を練り歩きます。

当日は、隣接する甲賀歴史民俗資料館を無料開放(午前10時～午後5時)します。

この機会にぜひお越しください。

【とき】 5月1日(金)

【ところ】

油日神社(甲賀市甲賀町油日1042)とその周辺

☎ 甲賀市歴史文化財課

☎ 0748-69-2250



伊賀 い・こ・が

亀山市

「歴史かめさんぽ」を配信しています

亀山市では、本市を訪れたことがある、学校の教科書にも登場する人物(聖武天皇、豊臣秀吉、歌川広重)を紹介する番組「歴史かめさんぽ」をYouTubeで配信しています。それぞれの人物と亀山との関わりを分かりやすく紹介していますので、ぜひご視聴ください。



行政情報番組「マイタウンかめやま」「歴史かめさんぽ」

☎ 亀山市広報秘書課広報グループ

☎ 0595-84-5021

☎ 亀山市文化課まちなみ文化財グループ

☎ 0595-96-1218



伊賀城和 定住自立圏 — IGAJOWA —

伊賀城和(伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース

☎ こども政策課 ☎ 22-9677 FAX 22-9646

TOPICS

病児保育室をご利用ください — こどもの急な体調不良時に —



病気中や病気の回復期にあるこどもを、保護者が家庭で保育できないときに、一時的にお預かりする「ゆめこどもクリニック伊賀病児保育室」を設置しています。

【開室日時】

○月～水曜日、金曜日：午前9時～午後6時

○土曜日：午前9時～午後5時

※木・日曜日、祝日、8月13日～16日、12月29日～1月3日、その他小児科の休診日は利用できません。

【ところ】 ゆめこどもクリニック伊賀病児保育室
(小田町258-2)

【対象者】

○市内に在住または在勤する人のこども*

○伊賀城和定住自立圏域(笠置町・南山城村・山添村に限る。)に居住する人のこども*

*小学校、幼稚園・保育所(園)などに通う生後6カ月以上の園児など

【利用できる病気の範囲】

○風邪・感染性胃腸炎などの日常的にかかる病気

○インフルエンザ、水ぼうそう、おたふく風邪などの感染症

○気管支ぜんそくなどの慢性疾患

○その他医師が利用可能と判断した病気

【利用料金(1日)】

①市町村民税所得割課税世帯：1,000円



②市町村民税課税世帯

(①に該当する世帯を除く。)：500円

③市町村民税非課税世帯または生活保護世帯：無料
※伊賀城和定住自立圏域在住者(笠置町・南山城村・山添村に限る。)の利用料金は市内在住者と同じ。

④市外在住者：1000円

【定員】 4人/日

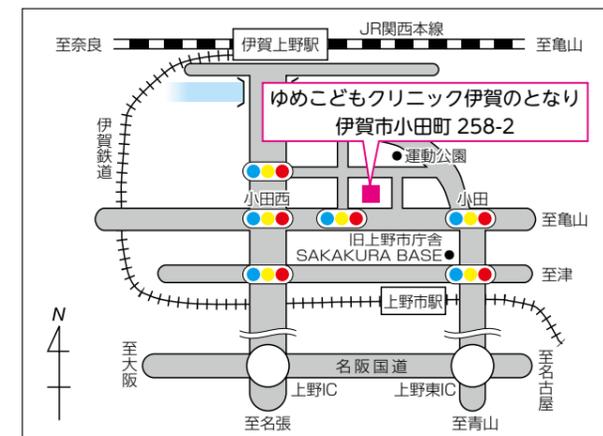
【利用方法】

①当日、電話で空き状況を確認する。
(受付：午前8時～)

②ゆめこどもクリニック伊賀で診察を受ける。
(受付：午前8時45分～)

③申請書・保護者連絡票を提出する。
※申請書などは病児保育室にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【予約先】 ゆめこどもクリニック伊賀病児保育室
☎ 24-7605



上野総合市民病院だより

◆安心・安楽・安全な手術を提供する取り組み

当院では、主に消化管外科・肝胆膵外科・乳腺外科・整形外科の手術を行っています。専門性の高い先進的な治療を、身体への負担をより少なく、効率的に提供できる機器を導入しています。

また、患者さんに安心して手術を受けていただけるように、手術前に担当看護師が手術室入室からの流れを説明します。手術に対する不安や疑問を伺い、手術室での対応を事前に説明させていただくことで、不安の軽減に努めています。手術中、患者さんは長時間同じ姿勢で動くことができないので、時間ごとに無理のない体位の確認を行うことで、安楽な体位保持に努め、循環障害や神経障害の予防に取り組んでいます。また、スタッフも手術中の体位を体験するなど、患者さんの気持ちになってより安楽なケアを追求しています。手術後は、身体の回復状態や手術室で感じたことなどを聞かせていただき、看護の質を高めています。

当院は二次救急医療を担っていて、緊急手術にも対応しています。安全に手術を受けていただけるよう、緊急時のシミュレーションを実施し、看護実践力やチームの連携を強化しています。

医師、麻酔科医、看護師、臨床工学技士などの多職種が連携し、今後も、より安心・安楽・安全な手術が提供できるように取り組みます。

(手術室看護師長 平地 文子)



勉強会の様子

明日に向かって～差別をなくしていくために～

ジェンダー平等社会に向けて - 消防総務課 -

「消防士」と聞くと、多くの方が「男性」をイメージするのではないのでしょうか。このような無意識の思い込みや偏見を「アンコンシャス・バイアス」と呼び、性別によって仕事や役割を決めつける思い込みは「ジェンダーバイアス」と言います。

「女性は力仕事ができない」とか、「男性の方が冷静で災害活動に向いている」といった考えが、これまで女性の消防士の活躍を妨げてきたのではないのでしょうか。令和6年度時点で、全国の女性の消防士は6,124人、全体に占める比率は3.7%です。同様に伊賀市消防本部では6人で3.4%と、男性に比べれば少数ですが、年々増加しています。

また、総務省消防庁はこれまで、消防士に占める女性の割合を5%に引き上げる目標を掲げてきました。しかし、他の公安系職種（警察や自衛隊など）

と比較すると割合が低いのが現状です。そこで、令和13年度までに10%とするよう、目標値の引き上げが行われました。

消防行政への女性の参画は、多様な視点を取り入れた組織文化の醸成につながり、組織全体の強化と住民サービスの向上に貢献します。伊賀市では、令和8年度までに採用試験の受験者に占める女性の割合を、10%にする独自目標を掲げています。

「ジェンダーバイアス」は無意識の偏見であることを自覚し、「男性だから」「女性だから」と決めつけるのではなく、個人の能力や適性に基づいて仕事や役割を判断することが重要です。

誰もがなりたい職業で活躍できる社会の実現に向けて、消防本部でも取り組みを進めていきます。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



伊賀の歴史余話 46

伊賀鉄道の電化100年

令和4年に伊賀鉄道の全線開通100周年を記念して、記念列車の運行やパネル展が開催されたことは記憶に新しいと思います。

そして、今年には伊賀鉄道電化100周年を迎えます。大正11(1922)年に全線開通した伊賀鉄道はその後、さらなる輸送力の増強と旅客の快適さを求め、鉄道の電化をめざしました。電化の動きは明治後期から全国各地であったものの、地方都市の私鉄においては、非常に先駆的な試みでした。

大正15(1926)年5月9日に電化のための電気工事を完了した伊賀鉄道は、24日に鉄道省より電車運転の認可が下り、25日から運転を開始しました。この電化に伴い伊賀鉄道では、新たに電動客車6輛と電気機関車2輛を導入し、事前の運転教習は大阪市電の運転士を招いて実施されました。また、猪田道などの駅のホームが整備され、市部・上林・庄田に停留場が新設されました。

電化のために重要な変電所は、阿保か丸山に建設することが検討され、最終的に丸山に設置されまし

た。この丸山変電所には、250キロワットの発電機3台(1台予備)が設置され、伊賀鉄道へと電力を送りました。

伊賀鉄道の「大正15年度下半期営業報告書」によると、電化直後の6月から11月における一日平均の旅客数は3,013人でした。電化の開始当初は遅延も発生したようですが、その後は徐々に運行も軌道に乗っていったようです。

文化財課歴史資料係 ☎/FAX 41-2271



▲丸山変電所(伊賀鉄道電化記念絵葉書より)



「イガプロ」とは、「イガ」と「プロダクト(製品)」、「プロフェッショナル(専門家)」などさまざまな「プロ」を掛け合わせた造語です。

日本精工硝子株式会社

1895(明治28)年の創業から130年。伊賀の地に工場を構えて約40年が経ちました。

私たちは長年、化粧品やお酒、食品・調味料などのガラスびんを製造しています。これからも、高品質で透明感・デザイン性に優れた「びんづくり」を続けていきます。

SDGsの取り組みや地球環境に向き合うことが必須な現代社会では、ガラスは循環型社会に適した環境にやさしい天然素材です。私たちはこの魅力的なガラスを、これまで培ってきた技術で商品にさらなる価値を提供します。透明なガラスびんは、日常のあらゆるシーンに彩りを与え潤いをもたらします。それが私たちの喜びであり、豊かな未来に継いでいけると考えています。

大阪市中央区伏見町(北浜)にショップ&ギャラリー「GLASSOWA」も設けていますので、ぜひお越しください。

◆若手社員のコメント

2025年に入社し、金型の保全を担当しています。ガラスびんの知識もなく工場も未経験でしたが、先輩がーから優しく教えてくださったおかげで少しずつ仕事に自信が持てるようになってきました。

作業を進めるたびに金型の奥深さを知り、ガラスびん作りの面白さを感じながら日々取り組んでいます。

新しいことに挑戦したい人は、ぜひ私たちと一緒に楽しく働いてみませんか。(金型グループ 本間 萌)



◆会社概要

【設立】1985(明治28)年9月

【所在地】

○本社：大阪府大阪市北区長柄西1-2-25

○工場：伊賀市甲野1018

【従業員数】130人

【事業概要】化粧品用びん、酒用びん、食品・調味料用びん作成

【連絡先】○本社：☎ 06-6351-1604

○工場：☎ 46-1236

【グループ会社】5社

【従業員数(グループ全体)】

約270人



<https://www.osg-co.jp>

問 産業政策課 ☎ 22-9727 FAX 22-9695

5月の無料相談

暮らしのいろいろな問題と悩みごとについて相談をお受けします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



相談内容	開催日	時間	場所	問い合わせ/備考	電話
法律相談 ※予約制 *市職員(弁護士)が相談に 応じます。 (年度内1回のみ)	① 14日(木) ② 26日(火)	13:00 ~ 16:30	本庁舎 2階相談室3	暮らし安全課 ① 5/7 8:30 ~ 受付 ② 5/19 8:30 ~ 受付 ※先着6人	22-9638
法テラス法律相談(弁護士) *収入要件あり ※予約制	20日(水)	13:00 ~ 16:00	本庁舎 2階相談室3	法テラス三重 ※受付期限(5/19) ※先着6人	050-3383-5470
行政相談(行政相談委員) *行政に関わる日常の困りごとをお伺いします。	13日(水)	13:30 ~ 15:30	本庁舎 2階相談室3	暮らし安全課	22-9638
	19日(火)		伊賀支所 1階相談室	伊賀支所	45-9104
	21日(木)	13:30 ~ 16:00	青山複合施設 アオーネ 会議室3	青山支所	52-3227
司法書士相談(登記・相続・借金問題など) ※予約制	27日(水)	13:00 ~ 16:00	本庁舎 2階相談室3	暮らし安全課 ※受付期間(4/23 ~ 5/25) ※先着5人	22-9638
女性法律相談(離婚・親権など) ※予約制 (年度内1回のみ)	13日(水)	13:00 ~ 16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室	人権政策課 ※受付期間(4/27 ~ 5/8) ※先着4人 ※オンライン相談	22-9632
人権相談(人権擁護委員)	21日(木)	13:30 ~ 16:00	本庁舎 2階相談室3	人権政策課	22-9683
出張年金相談 ※予約制	14日(木)	10:00 ~ 15:00	ハイトピア伊賀 3階	津年金事務所	059-228-9112
外国人のための行政書士相談 ※予約制	7日(木)	13:30 ~ 16:00	ハイトピア伊賀 4階 多文化共生センター	多文化共生課 ※受付期限(4/28) ※先着4人	22-9702
こころの健康相談 ※予約制	26日(火)	14:00 ~ 17:00	三重県伊賀庁舎 1階	伊賀保健所 ※受付期限(5/19)	24-8076
健康相談	22日(金)	9:30 ~ 10:30	ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム	健康推進課	22-9653
高齢者の就業相談	7日(木)	13:30 ~ 15:00	下郡市民館	シルバー人材センター	24-5800
	21日(木) ※予約制		伊賀市シルバーワークプラザ		

※ハイトピア伊賀駐車場は有料です。

常時開設相談

※相談時間などはお問い合わせください。

相談内容	問い合わせ	電話	相談内容	問い合わせ	電話
消費生活相談	暮らし安全課	22-9626	障がい者の総合相談	障がい者相談支援センター	26-7725
空き家に関する相談	空き家対策課	22-9676	ふれあい相談(教育相談)	教育研究センター	21-8839
高齢者の総合相談	地域包括支援センター	26-1521	青少年相談	青少年センター	24-3251
女性相談 ※予約優先	こどもの育ち支援課 こども家庭相談係	22-9609	若者の就労相談 ※予約優先	いが若者サポートステーション	22-0039
家庭児童相談 ※予約優先			雇用・労働相談	産業政策課	22-9669
母子・父子自立相談 ※予約優先			生活に困りの方の相談	生活支援課	22-9650
こどもの発達相談	こどもの育ち支援課発達支援係	22-9627	人権相談	人権政策課	22-9683

5月の子育てカレンダー

子育て支援のための教室・事業のご案内



月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7 森 ベビーマッサージ	8 包 乳幼児相談 い らぶらぶひろば	9 包 にんにんパーク 青 土曜広場	10 包 ウェルカム ベビー教室
11 い 乳幼児相談 島 だっこ 大 のびっこひろば 曙 すくすくひろば 森 エンジェルサークル	12 包 よちよち 青 おはなし会 曙 ぐるんぱ	13	14 い くるみっこひろば 森 ベビーマッサージ	15 包 てくてく い らぶらぶひろば あ げんきっこ	16	17
18 大 おたのしみひろば 曙 すくすくひろば 森 エンジェルサークル	19 包 ぴよぴよ	20 青 乳幼児相談 曙 ぐるんぱ	21 い あんずっこひろば あ びよっこエプロン 森 ベビーマッサージ	22 島 わくわくひろば	23 包 ふれあい広場 青 土曜広場	24
25 い らぶらぶひろば 曙 すくすくひろば 森 赤ちゃんなんでも相談・はつづく測定会	26 包 離乳食教室 島 プレイルームで親子の時間	27 大 わんわんひろば 青 なかよし広場 曙 ぐるんぱ	28 森 ベビーマッサージ	29 包 ぐんぐん い らぶらぶひろば あ ベビータッチ	30	31 包 おやこ de わくわく教室

◆各センターのプレイルームで遊べます
 包 月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00 青あ 火~土 9:00~17:00
 第2土曜日は上野南公園でにんにんパーク開催 曙 月~水 10:00~16:00
 い大 月~金 9:00~17:00 森 月・水・金・土・日 12:00~17:00
 島 月~金 9:00~16:00

各教室・事業の詳細や申込方法は市ホームページからご確認ください。



5月の健診

【1歳6カ月】 21日(木)
【3歳児】 12日(火)



子育て支援教室フォトレポート



2月20日(金)、青山子育て支援センターで「親子ヨガ」を行いました。親子で触れ合いながらゆったりとした時間を過ごしました。軽いストレッチや親子でできるポーズをするなど、参加者同士で笑顔が広がる和やかな会でした😊 参加者からは「子育て中にあまり使わない部位もほぐせて、リフレッシュできた。」といった感想が寄せられました。

- 問い合わせ
- 包 子育て包括支援センター ☎ 22-9665
 - い いがまち子育て支援センター ☎ 45-1015
 - 島 島ヶ原子育て支援センター ☎ 59-9060
 - あ あやま子育て支援センター ☎ 43-2166
 - 大 大山田子育て支援センター ☎ 47-0088
 - 青 青山子育て支援センター ☎ 53-0711
 - 曙 曙保育園「すくすくらんど」 ☎ 21-7393
 - 森 森川病院「エンジェル」 ☎ 21-2425
 - (健診) こどもの育ち支援課 ☎ 41-1556
 - (乳幼児相談) 子育て支援室 ☎ 22-9665

伊賀市 LINE 公式アカウント

子育て支援、親子で参加できるイベント情報をお届け！(受信設定で「子育て・教育」を選択)



友だち追加はこちら▲



応募方法など詳しくはこちら▶



問 秘書広報課 ☎ 22-9636

伊賀市内で撮影された風景、人物、暮らしの様子などすてきな写真を紹介します。

「美しい月」



雲のない夕焼け空に、三日月がきれいでした。

投稿者 しまりすさん

「ジョウビタキ」



毎日餌を食べにやって来るジョウビタキ

投稿者 山田龍男さん

「近鉄電車新時代へ」



塗装が赤から青に一新された近鉄新型一般車両「1A系」

投稿者 高瀬弘嗣さん



4月の二次救急実施病院

※二次救急（重症）の人が対象

日	月	火	水	木	金	土
*小児科以外の診療科です。			1 岡波	2 名張	3 上野	4 名張
5 岡波・名張	6 岡波	7 名張	8 岡波	9 名張	10 上野	11 上野
12 岡波	13 岡波	14 上野	15 岡波	16 名張	17 上野	18 名張
19 岡波・名張	20 岡波	21 名張	22 岡波	23 名張	24 上野	25 上野
26 岡波	27 岡波	28 上野	29 岡波	30 名張		

※重症者が重なるなど、診察できない場合があります。

※非当番日は救急の受け入れを行いません。

実施時間帯

平日：午後5時～翌日午前8時45分

土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分
(岡波総合病院)

月曜日：午後5時～翌日午前9時

水曜日：午後5時～翌日午前8時45分

日曜日：午前9時～翌日午前8時45分

※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車でのご搬送以外は必ず事前連絡を

上野総合市民病院 ☎ 24-1111

名張市立病院 ☎ 61-1100

岡波総合病院 ☎ 21-3135



伊賀市応急診療所 ☎ 22-9990 (上之庄 1700-1)

※夜間・休日の手術・入院を伴わない一次救急の人が対象

診療科目

一般診療・小児科

診療時間

(月～土曜日) 午後8時～11時

(日・祝日) 午前9時～正午・午後2時～5時・8時～11時

※受付は診療終了時刻の30分前まで

※診療体制確保のため、駐車場到着後に電話で症状を伝えてください。

※各種感染症検査・点滴・レントゲン検査・血液検査などは行っていません。

※救急車利用の場合、帰りの手段は各自で手配してください。

救急車を呼ぶか迷うとき
(24時間 通話・相談無料)

伊賀市救急・健康相談ダイヤル24
☎0120-4199-22

受診できる医療機関が
知りたいとき(24時間)

三重県救急医療情報センター
☎059-229-1199

伊賀市の人口・世帯数 (令和8年2月末現在)

総数 82,997人 (前月比-165)

世帯数 40,436世帯 (前月比-58)

今月の納税

納期限 4月30日(休)

固定資産税 (1期)

◆ 上下水道部 (伊賀市ゆめが丘七丁目4番地の4)

担当部署	電話番号	FAX番号	主な業務内容	
経営企画課	総務係	☎ 24-0001	24-0006	人事、給与、財産、契約、庶務
	経営改善係			上下水道事業の基本計画、経営戦略、経営改善に資する計画の立案
	経理係			予算、決算、経理、資金計画
	営業係	☎ 24-0003		上下水道事業料金関連業務に関すること ※検針、開閉栓、料金に関する問い合わせは上下水道お客様センターへ
水道工務課	建設係	☎ 24-0002	24-0006	給配水管路の計画・調査・設計・工事
	維持係			給配水管路の維持管理・修繕
水道施設課	浄水係	☎ 24-3980	24-0006	浄水場等の各施設運転管理・調査・設計・工事
	水質管理係			上水道の水質保全・管理
下水道課	建設係	☎ 24-2137	24-2138	生活排水処理施設整備計画、下水道の計画・調査・設計・工事
	施設維持係			下水道施設の維持管理、処理場運転管理、合併処理浄化槽
上下水道お客様センター		☎ 24-0013	24-0007	上下水道の検針・開閉栓、計量器の交換、料金に関する問い合わせ
		☎ 24-3969		上下水道の申請受付、水道の漏水や濁り・下水道の詰り等問い合わせ

◆ 消防本部 (伊賀市緑ヶ丘東町920番地)

担当部署	電話番号	FAX番号	主な業務内容	
消防総務課	☎ 24-9100		消防職員の人事・服務、企画、消防予算、消防委員会	
予防課	予防係	☎ 24-9105	24-9111	消防設備・建築物の消防同意、消防広報、火災予防の対策
	危険物係	☎ 24-9103		危険物の規制
	査察指導係	☎ 24-9118		火災予防条例、防火対象物の予防査察・指導
地域防災課	☎ 24-9115		消防団、消防施設	

◆ 伊賀地域消防指令センター (伊賀市緑ヶ丘東町920番地)

担当部署	電話番号	FAX番号	主な業務内容
通信指令課	☎ 22-8388 ☎ 21-0119	24-9112	通信指令業務の共同運用(伊賀市・名張市) 火災案内

◆ 伊賀消防署

担当部署	電話番号	FAX番号	主な業務内容			
管理課	消防救助管理係	☎ 24-9116	24-3544	消防・救助事務、緊急消防援助隊、応援協定		
	救急管理係	☎ 24-9120		救急事務		
	訓練指導係	☎ 24-9106		各種講習・訓練指導		
消防救助課	指揮調査係 消防救助係	☎ 24-9107	24-9107	火災・救急・救助業務		
救急課	第1係、第2係				☎ 45-3100	45-3100
	第3係(デイトタイム救急隊)					
東分署	第1係、第2係	☎ 43-0438	43-0438	火災・救急・救助業務		
	阿山出張所	☎ 47-0353	47-0353			
南分署	第1係、第2係	☎ 52-1151	52-1151	火災・救急・救助業務		
	丸山出張所	☎ 37-0100	37-0100			
西分署	第1係、第2係	☎ 20-9901	20-9901	火災・救急・救助業務		
	島ヶ原出張所	☎ 59-2277	59-2277			

◆ 関連施設

施設名	電話番号	施設名	電話番号
伊賀市立上野総合市民病院	☎ 24-1111	伊賀南部クリーンセンター	☎ 53-1120
伊賀市健診センター	☎ 24-1186	伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村 ごみ処理広域化検討協議会事務所	☎ 20-9781
伊賀市応急診療所	☎ 22-9990	伊賀市斎苑	☎ 21-0713
国保阿波診療所	☎ 48-0004		

◆ 地区市民センター

施設名	電話番号	施設名	電話番号	施設名	電話番号
上野東部地区市民センター	☎ 24-3999	猪田地区市民センター	☎ 21-3533	鞆田地区市民センター	☎ 43-2205
上野西部地区市民センター	☎ 23-9779	依那古地区市民センター	☎ 37-0025	玉瀧地区市民センター	☎ 42-0120
上野南部地区市民センター	☎ 23-5236	比自岐地区市民センター	☎ 37-0029	丸柱地区市民センター	☎ 44-1444
小田地区市民センター	☎ 21-3346	神戸地区市民センター	☎ 38-1300	山田地区市民センター	☎ 47-1777
久米地区市民センター	☎ 21-1830	きじが台地区市民センター	☎ 36-0671	布引地区市民センター	☎ 47-0928
花之木地区市民センター	☎ 21-3259	古山地区市民センター	☎ 39-0001	阿波地区市民センター	☎ 48-0009
長田地区市民センター	☎ 21-3246	花垣地区市民センター	☎ 39-0002	阿保地区市民センター	☎ 52-2000
新居地区市民センター	☎ 21-3340	ゆめが丘地区市民センター	☎ 21-7055	上津地区市民センター	☎ 52-0710
三田地区市民センター	☎ 21-3331	柘植地区市民センター	☎ 45-8880	博要地区市民センター	☎ 55-2004
諏訪地区市民センター	☎ 24-5201	西柘植地区市民センター	☎ 45-8611	高尾地区市民センター	☎ 55-2700
府中地区市民センター	☎ 23-3027	壬生野地区市民センター	☎ 45-8900	矢持地区市民センター	☎ 54-1004
中瀬地区市民センター	☎ 21-3239	島ヶ原地区市民センター	☎ 59-9061	桐ヶ丘地区市民センター	☎ 52-0204
友生地区市民センター	☎ 21-3534	河合地区市民センター	☎ 43-9800		

伊賀市役所 主な組織と電話番号の一覧

令和8年4月1日現在

市外局番：(0595)

担当部署	電話番号	FAX番号	主な業務内容	
市役所本庁舎 総合案内	☎ 22-9611	24-2440	総合案内、夜間・時間外受付(守衛室)	
防災危機対策局	☎ 22-9640	24-0444	防災、危機管理	
未来政策部	未来政策課	☎ 22-9620	22-9672	総合計画 定住自立圏、広域行政
	行政改革課	☎ 41-0930 ☎ 22-9690	22-9672	行政改革、公民連携 市有財産の利活用、ファシリティマネジメントの推進
	秘書広報課	☎ 22-9600 ☎ 22-9636	24-7900 22-9672	秘書、渉外、儀式、表彰 広聴、広報
総務部	総務課	☎ 22-9601 ☎ 22-9602	22-9672	市行政一般、選挙、統計、情報公開、個人情報保護 例規、文書管理
	人事課	☎ 22-9605 ☎ 22-9606	22-9742	職員の人事・研修 職員の給与・福利厚生
	デジタル自治推進課	☎ 22-9622 ☎ 22-9625	22-9672	デジタル化の推進 情報システムの運用・管理
地域力創造部	契約監理課	☎ 22-9810 ☎ 22-9685	22-9837	工事・物品等の入札、契約、入札参加資格の審査・登録 工事の検査・成績評定
	交流政策課	☎ 22-9623 ☎ 22-9680	22-9672	地方創生施策の総合調整 移住定住の促進・地域おこし協力隊の推進
	文化振興課	☎ 22-9621 ☎ 41-0400 ☎ 21-2219	22-9694 22-9619	文化振興・芭蕉翁顕彰 文化振興施設・芭蕉翁顕彰施設の管理 芭蕉翁記念館の展示・芭蕉翁及び俳句関連資料の管理
スポーツ振興課	☎ 22-9635	22-9694	スポーツ振興	
財務部	公共交通課	☎ 22-9663	22-9694	公共交通施策の総合的企画及び調整、バス交通 伊賀鉄道伊賀線、広域鉄道網、リニア中央新幹線
	管財課	☎ 22-9610	24-2440	市有財産・本庁舎・公用車・市営駐車場の管理
	財政課	☎ 22-9608	24-2440	財政の統括、予算の編成・執行管理
課税課	市民税係	☎ 22-9613	22-9618	市県民税・軽自動車税の賦課
	資産税係	☎ 22-9614		固定資産税・市たばこ税・鉱産税・入湯税の賦課
	収税課	☎ 22-9615 ☎ 22-9612 ☎ 22-9675	22-9618	税証明、還付、口座振替 市税等の徴収、納税相談 滞納債権
地域政策課	地域政策係	☎ 22-9639	22-9694	住民自治施策の企画・推進、市民活動支援
	市民活動支援センター	☎ 22-1511	22-0317	市民活動支援
	ゆめぼりすセンター	☎ 22-0310		施設の貸館業務
地域連携部	上野支所	☎ 22-9633	22-9628	住民自治の推進、住民自治協議会・自治会の支援、 地区市民センターの管理
	伊賀支所	☎ 45-9111 ☎ 45-9104	45-9120	住民自治の推進、住民自治協議会・自治会の支援、 地区市民センターの管理、地域防災、人権啓発、 各種証明書の交付、戸籍・住民異動に係る諸届・申請、 印鑑登録、埋火葬の許可、各種税・料金収納、市民相談、 保育所(園)・介護保険・国民健康保険・国民年金・ 後期高齢者医療・福祉医療・高齢者・障がい者・児童・ 母父子福祉の届出・申請の受付(取り次ぎ)
	島ヶ原支所	☎ 59-2053	59-3196	
阿山支所	☎ 43-1543 ☎ 43-0333	43-1679		
人権生活環境部	大山田支所	☎ 47-1150 ☎ 47-1151	46-0135	住民自治の推進、住民自治協議会・自治会の支援、 地区市民センターの管理、地域防災、人権啓発、 各種証明書の交付、戸籍・住民異動に係る諸届・申請、 印鑑登録、埋火葬の許可、各種税・料金収納、市民相談、 保育所(園)・介護保険・国民健康保険・国民年金・ 後期高齢者医療・福祉医療・高齢者・障がい者・児童・ 母父子福祉の届出・申請の受付(取り次ぎ)
	青山支所	☎ 52-1112 ☎ 52-3227	52-2174	
	人権政策課	☎ 22-9683 ☎ 22-9632	22-9641 22-9666	
同和課	☎ 22-9689	24-2440	同和施策の計画・推進	
人権生活環境部	八幡町市民館	☎ 23-3157	23-5407	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
	しろなみ児童館	☎ 24-2466	24-2466	児童館事業
	下郡市民館	☎ 37-0558	37-0558	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
	寺田市民館	☎ 23-8728	23-8728	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
	いがまち人権センター	☎ 45-4482	45-9130	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
	まえがわ児童館			児童館事業
	ライトピアおおやまだ	☎ 47-1160	47-1162	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
	青山文化センター	☎ 55-2411	55-2434	人権啓発、地域福祉、地域交流、相談事業
老川児童館			児童館事業	
多文化共生課	☎ 22-9702	22-9641	多文化共生の推進、外国人相談窓口	

担当部署		電話番号	FAX番号	主な業務内容			
人権生活環境部	戸籍住民課	戸籍住民係	☎ 22-9645	22-9643	戸籍、住民票、印鑑登録、埋火葬の許可		
		おくやみコーナー	☎ 41-2533		おくやみ後の手続き		
		マイナンバー係	☎ 41-2355		マイナンバーカード		
	くらし安全課	くらし安全係	☎ 22-9638 ☎ 41-0931	22-9641	各種市民相談の案内、交通安全対策、防犯、空き地の雑草除去条例に基づく指導、斎苑、犬の登録		
		消費生活相談専用ダイヤル	☎ 22-9626		消費生活相談		
	環境政策課	環境政策係	☎ 22-9624	22-9641	環境基本計画の推進に関する事		
		環境保全係			環境保全施策の推進		
	資源循環推進課	環境センター	☎ 20-9105	20-9107	生活環境調査		
		資源循環推進係	☎ 20-1050	20-2575	資源循環推進に係る企画・調整		
		さくらリサイクルセンター	☎ 20-9272		可燃ごみ・資源ごみの処理		
☎ 20-9170			ごみ収集（集積場パトロール・拠点収集）				
浄化センター		☎ 23-1179 ☎ 21-2109	21-8704	し尿・浄化槽汚泥の処理、市直営で指定区域内のし尿収集			
不燃物処理場	☎ 23-8991	—	不燃物の処理				
健康福祉部	医療福祉政策課	福祉総務係	☎ 26-3940	22-9673	福祉施策の企画調整、地域福祉、民生委員、日本赤十字社		
		医療政策係	☎ 22-9705		地域医療施策の企画調整、応急診療所		
	障がい福祉課	福祉監査係	☎ 22-9708	22-9662	社会福祉法人・介護サービス事業者等の指導監査		
		総務係	☎ 22-9657		障がい者の福祉施策		
	生活支援課	障がい福祉係	☎ 22-9656	22-9661	障がい者の福祉事業（手帳交付、給付、手当等）		
		庶務係	☎ 22-9630		生活保護の医療券の発行		
		保護第1係	☎ 22-9651		生活保護		
		保護第2係	☎ 22-9652		生活困窮者自立支援		
	子ども政策課	生活支援係	☎ 22-9650	22-9646	生活困窮者自立支援		
		企画総務係	☎ 22-9654		児童福祉施策の企画・調整		
	子どもの育ち支援課	児童福祉係	☎ 22-9677	22-9646	児童手当、児童扶養手当、放課後児童クラブ、病児保育		
		母子保健係	☎ 41-1556		母子健康手帳の交付、妊産婦健診、赤ちゃん訪問、乳幼児健診、妊産婦・育児支援、不妊不育治療費助成		
	子育て支援室	子ども家庭相談係	☎ 22-9609	22-9715	子ども家庭・養育・虐待の相談、女性相談、ひとり親家庭等の相談・支援		
		発達支援係	☎ 22-9627		子どもの発達に関する相談		
		子育て包括支援センター	子育て支援室	☎ 22-9665	22-9666	乳幼児期の子育て相談、プレイルームの開放、子育て支援の教室・事業	
			いがまち子育て支援センター	☎ 45-1015			45-4880
			島ヶ原子育て支援センター	☎ 59-9060			59-3188
			あやま子育て支援センター	☎ 43-2166			43-1679
			大山田子育て支援センター	☎ 47-0088			47-0089
			青山子育て支援センター	☎ 53-0711			53-0712
ファミリー・サポート・センター			☎ 26-7830	22-9666			ファミリー・サポート・センター事業
保育幼稚園課		総務係	☎ 22-9658	22-9646	保育所・幼稚園の運営、施設管理		
	保育企画係	☎ 41-0933	保育所・幼稚園・認定子ども園のあり方、幼児教育・保育				
介護高齢福祉課	保育認定係	☎ 22-9655	26-3950	保育所・幼稚園・認定子ども園の利用、保育料、給付			
	高齢福祉係	☎ 22-9634		高齢者の福祉施策			
地域包括支援センター	介護事業係	☎ 26-3939	24-7511	介護保険制度の推進			
	認定調査係	☎ 26-3941		要介護認定に係る訪問調査			
	総務調整係	☎ 22-9710		相談に係る会議の調整			
	介護支援係	☎ 41-0075		指定介護予防支援			
	総合相談係	☎ 26-1521		高齢者の総合相談、権利擁護、福祉に関する一次相談、介護予防			
健康推進課	東部サテライト	☎ 45-1016	45-1055	22-9666	高齢者の総合相談、権利擁護、福祉に関する一次相談、介護予防		
	南部サテライト	☎ 52-2715	52-2281				
産業政策課	障がい者相談支援センター	☎ 26-7725	24-7511	障がい者の相談			
	健康推進係	☎ 22-9653	22-9666	健康づくり事業、予防接種、献血			
観光振興課	産業振興係	☎ 22-9669		22-9695	商工業振興、地場産業振興		
	観光総務係	☎ 22-9670	観光誘客、観光客の受入環境整備				
中心市街地課	企業・雇用支援係	☎ 22-9727	22-9715	中小企業支援、雇用対策、創業支援			
	企業誘致推進係	☎ 22-9727		企業誘致、開発事業者の誘致調整			
農業振興課	観光誘客係	☎ 22-9670	22-9695	観光誘客、観光客の受入環境整備			
	農業政策係	☎ 22-9712		農畜産業振興、集落営農、農地法・農振法			
未来の山づくり推進課	農業振興係	☎ 22-9713	22-9714	農業に関する鳥獣害対策			
	獣害対策室	☎ 22-9714		農業に関する鳥獣害対策			
農村整備課	山づくり推進係	☎ 41-0934	22-9715	林業振興、森林法に関する届出			
	施設管理係	☎ 41-0104	22-9695	国土調査、農林業施設の事務管理、農林業施設の境界確認			
施設整備係	☎ 22-9718	土地改良事業、治山、農林業施設の災害復旧					

担当部署		電話番号	FAX番号	主な業務内容	
建設部	建設政策課	土木管理係	☎ 22-9722	22-9724	市道の認定・台帳整備、敷地占用などの申請、土木施設の境界確認
		公共基盤推進係	☎ 22-9723		国・県が行う事業の調整・促進
	道路河川課	事業推進係	☎ 22-9725	22-9724	道路・橋梁・河川などの計画・整備
		施設維持係	☎ 22-9726		道路・橋梁・河川などの維持管理、公共土木施設の災害復旧
	都市計画課	計画管理係	☎ 22-9731	22-9734	都市計画の立案・調査・決定・変更、景観行政
		公園施設係	☎ 41-0290		都市公園の整備・管理
	開発指導室	☎ 22-9733	都市計画法に関する届出、開発指導、土地利用条例など		
	建築課	建築営繕係	☎ 22-9735	22-9684	公共施設（庁舎・体育館・病院・文化施設など）の設計・建設・修繕
		建築指導審査係	☎ 22-9732	22-9734	建築基準法、長期優良住宅・低炭素住宅の認定等、住宅の耐震化
	住宅政策課	住宅政策係	☎ 22-9737	22-9736	市営住宅施策の企画・調整
住宅管理係		☎ 41-0072	市営住宅の管理・運営、使用料決定・徴収		
空き家対策課	住宅営繕係	☎ 41-0072	22-9676	市営住宅の工事設計・営繕	
	空き家対策係	☎ 22-9676		空き家バンク、空き家の活用相談、危険空き家の助言・指導	
出納室	出納係	☎ 22-9686	22-9839	現金等の出納・保管	
	審査係	☎ 22-9686		現金等の出納・保管	
市議会事務局	議事課	☎ 22-9687	24-7901	市議会・常任委員会の事務	
	議事調査係	☎ 22-9688			

◆ 教育関係

担当部署		電話番号	FAX番号	主な業務内容	
教育委員会事務局	教育総務課	総務係	☎ 22-9644	22-9647	学校の管理運営
	教育施設課	教育政策係	☎ 41-0208		教育行政に係る企画・立案・調整
	学校教育課	学務係	☎ 22-9648	22-9667	学校施設の整備・営繕
		指導教職員係	☎ 22-9649		児童生徒の就学・転出入、就学援助
	生涯学習課	生涯学習係	☎ 22-9679	22-9692	生涯学習・社会教育の推進、青少年健全育成の啓発
		人権同和教育係	☎ 22-9679	22-9692	人権同和教育
	文化財課	文化財係	☎ 22-9678	22-9667	文化財の調査・保護、文化財の指定
		歴史資料係	☎ 41-2271	41-2271	歴史資料の保存・管理
	給食センター	いがっこ給食センター夢	☎ 21-8194	21-8199	給食の献立、調理、運搬、施設の管理運営
		いがっこ給食センター元気	☎ 41-0888	41-0889	
公民館	中央公民館	☎ 22-9637	22-9692	公民館事業	
教育機関	教育集会所	八幡町教育集会所	☎ 23-3157	23-5407	人権同和教育の推進・活動
		下郡教育集会所	☎ 37-0558	37-0558	
		寺田教育集会所	☎ 23-8730	23-8728	
		リバティなかせ兼教育センター	☎ 26-0076		
	まえがわ教育集会所	☎ 45-4482	45-9130		
	まえがわ青少年活動センター	☎ 45-4482	45-9130		
	大土教育集会所	☎ 47-1160	47-1162		
図書館	奥馬野教育集会所	☎ 47-1160	47-1162	図書館事業	
	老川教育集会所	☎ 55-2350	—		
	伊賀市中央図書館	☎ 21-6868	21-8999		
伊賀市教育研究センター	伊賀市北部図書館	☎ 45-9122	—	教育研究・会議室等貸出し	
	伊賀市南部図書館	☎ 52-1110	—		
	伊賀市教育研究センター	☎ 21-8839	21-8839		教育研究・会議室等貸出し
	伊賀市教育支援センター（ふれあい教室）	☎ 24-0783	24-0783		教育相談・不登校児童生徒の適応指導
	伊賀市生涯学習センター	☎ 22-9801	22-9692		施設の貸館業務
伊賀市青少年センター	☎ 24-3251	24-3251	青少年相談		

◆ 行政委員会

担当部署		電話番号	FAX番号	主な業務内容
農業委員会事務局	選挙管理委員会事務局	☎ 22-9720	22-9715	農業委員会の事務
	監査委員事務局	☎ 22-9601	22-9672	選挙管理委員会の事務
公平委員会	公平委員会	☎ 22-9740	22-9741	監査事務
固定資産評価審査委員会	公平委員会	☎ 22-9740	22-9741	公平委員会の事務
固定資産評価審査委員会	公平委員会	☎ 22-9740	22-9741	固定資産評価審査委員会の事務